

総合分析実験センター

生物資源開発部門

学術論文

- 1 Kitagawa N, Oda M, Totoki T: Meperidine-induced muscular rigidity during spinal anesthesia? *Anesthesia and Analgesia* 103: 490-491, 2006.
- 2 Kitagawa N, Oda M, I Nobutaka, Satoh H, Totoki T, Morimoto M: A proposed mechanism for amitriptyline neurotoxicity based on its detergent nature. *Toxicology and Applied Pharmacology* 217: 100-106, 2006.
- 3 Kitagawa N, Katoku M, Kasahara T, Tsuruta T, Oda M, Totoki T: Does atropine reduce the risk of propofol-induced cardiovascular depression? *Anesthesia and Analgesia* 103: 1606-1608, 2006.
- 4 *北村宏規, 高原信二, 平川信洋, 北川範仁, 可徳三博, 鶴田敏幸, 小松 智, 笠原貴紀: 新体操における手関節疼痛と肩関節可動域の関連性について. 九州・山口スポーツ医・科学会誌 18: 21-24, 2006.
- 5 *Liang J., Liu E., Yu Y., Kitajima S., Koike T., Jin Y., Morimoto M., Watanabe T., Hatakeyama K., Asada Y., Sasaguri Y., Watanabe S., Fan J.: Macrophage elastase (MMP-12) accelerates the progression of atherosclerosis in transgenic rabbits. *Circulation* 113: 1993-2001, 2006.
- 6 *古賀寿記, 坂元大海, 平川信洋, 北川範仁, 可徳三博, 鶴田敏幸, 小松 智, 笠原貴紀: カヌー競技におけるパドリング時の広背筋の筋活動. 九州・山口スポーツ医・科学会誌 18: 39-42, 2006.
- 7 *鶴田敏幸, 可徳三博, 北川範仁, 宮原晋一: 有痛性分裂膝蓋骨における治療成績とその成因に関する一考察. 日本臨床スポーツ医学会誌 14: 25-31, 2006.

学会発表

- 1 北川範仁, 小田万友子, 森本正敏, 十時忠秀: Minimal ropivacaine concentration causing irreversible neural injury in spinal anesthesia model rat. 第53回日本麻酔学会. 2006, 6, 1-3. 講演要旨集
- 2 北川範仁, 青柳孝彦, 可徳三博, 鶴田敏幸, 小田万友子, 十時忠秀: 肩関節手術の術後痛管理: 術中関節内ステロイド注入およびペンタゾシン投与の効果. 第26回日本臨床麻酔学会. 2006, 10, 26-28. 講演要旨集
- 3 北嶋修司, 劉 恩岐, 中西陽子, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林: ウサギ移植胚の4°C保存による仮親との同期化に関する検討. 第53回 日本実験動物学会総会. 2006, 5, 12-14. 講演要旨集 p256.
- 4 北嶋修司, 金 英姫, 小池智也, 于 瑩, 劉 恩岐, 塩見雅志, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林: ヒト apo(a)トランスジェニック WHHL ウサギにおける Lp(a)の冠動脈硬化促進. 第38回 日本動脈硬化学会総会. 2006, 7, 13-14. 講演要旨集 p239.
- 5 北嶋修司, 金 英姫, 小池智也, 于 瑩, 劉 恩岐, 塩見雅志, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林: ヒト apo(a)トランスジェニック WHHL ウサギにおける Lp(a)の冠動脈硬化促進. 第11回 Lp(a)カンファレンス. 2006, 7, 13-14. 講演要旨集 p 4.

- 6 *小池智也, 北嶋修司, 森本正敏, 渡辺照男, 浅田祐士郎, 畠山金太, 範 江林: 動脈硬化病変の C 反応性蛋白—その由来と病態生理学的重要性. 第95回 日本病理学会総会. 2006, 4, 29-5, 2. 講演要旨集 p227.
- 7 *小池智也, 北嶋修司, 于 瑩, 森本正敏, 範 江林: MMP-12は Tg ウサギの大動脈瘤の形成を促進させる. 第38回 日本動脈硬化学会総会. 2006, 7, 13-14. 講演要旨集 p240.
- 8 *小池智也, 塩見雅志, 畠山金太, 北嶋修司, 森本正敏, 渡辺照男, 浅田祐士郎, 範 江林: 動脈硬化研究におけるウサギモデルの有用性—新規危険因子 C 反応性蛋白の機能解析. 第2回フォーラム「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」. 2006, 9, 2. 講演要旨集 p14.
- 9 前田達弘, 劉 恩岐, 詫 茂信, 北嶋修司, 森本正敏: 凍結融解後のウサギ精子運動率に及ぼす冷却速度の影響について. 第24回九州実験動物研究会. 2006, 11, 18. 九州実験動物雑誌. 22: 72.
- 10 劉 恩岐, 北嶋修司, 森本正敏, 小池智也, Yu Ying, 長田道夫, 渡辺照男, 範 江林: Increased expression of VEGF in kidney impairs glomerular functions in transgenic rabbits. 第95回 日本病理学会総会. 2006, 4, 29-5, 2. 講演要旨集 p218.
- 11 劉 恩岐, 北嶋修司, Kurt Reifenberg, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林: 補体成分 C6 欠損ウサギの海外からの凍結精子による導入. 第2回フォーラム「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」. 2006, 9, 2. 講演要旨集 p16.
- 12 *于 瑩, 小池智也, 北嶋修司, 森本正敏, 塩見雅志, 範 江林: ウサギモデルを用いた動脈硬化における MMP 発現様式の検討. 第53回 日本実験動物学会総会. 2006, 5, 12-14. 講演要旨集 p220.
- 13 *Y. Yu, T. Koike, S. Kitajima, M. Morimoto, M. Shiomi, J. Fan: Upregulation of MMP-1, -3, -12, and -13 is associated with atherosclerotic lesions. The XIV International symposium on atherosclerosis, 2006, 6, 16-18. Atherosclerosis supplements 7(3); 238, 2006.
- 14 *于 瑩, 小池智也, 北嶋修司, 塩見雅志, 森本正敏, 範 江林: MMP-1, -3, -12, -13 の発現が動脈硬化病変において増加していた. 第38回 日本動脈硬化学会総会. 2006, 7, 13-14. 講演要旨集 p240.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	森本 正敏	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C)	C反応性蛋白トランスジェニックウサギを用いた動脈硬化の発生機序の解明	1,200
客員 研究員 (名誉教授)	渡辺 照男	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C)	肥満における PPARs の役割: 遺伝子改変ウサギを用いた研究	900
専門技 術職員	詫 茂信	平成18年度文部科学省研究費補助金	奨励研究	遺伝子組換えウサギの凍結精子による輸送方法に関する研究	720
専門技 術職員	友田 清光	平成18年度文部科学省研究費補助金	奨励研究	遺伝子組換えウサギの繁殖: 高圧蒸気滅菌可能な繁殖用巣箱の材質に関する検討	750

機器分析部門

学術論文

- 1 Ichiba M, Matsumoto A, Kondoh T, Horita M, Tomokuni K: Decreasing urinary PAH metabolites and 7-methylguanine after smoking cessation. 79 545-549 Int Arch Occup Environ Health 2006
- 2 Higure Y, Shimazaki Y, Nohmi M: Can 4-chloro-m-cresol be substituted for caffeine as an activator of calcium oscillation in bullfrog sympathetic ganglion cells? Cell Calcium 39: 467-70, 2006

学会発表

- 1 近藤敏弘, 中西祐子, 東原里美, 新開博子, 山下善功, 松永阿由美, 蒲池将史, 市場正良, 宮島徹, 友国勝麿: 佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み(2) 第76回日本衛生学会2006年3月 日本衛生学雑誌 第61巻第2号 286頁
- 2 市場正良, 山下善功, 近藤敏弘, 松本明子, 友国勝麿, 小川康恭, 毛利一平, 斉藤宏之, 平田 衛, 中田光紀, 北村文彦: 焼却炉作業者の多環芳香族炭化水素類曝露調査 2 第79回日本産業衛生学会2006年5月 産業衛生学雑誌 第48巻臨時増刊号635頁
- 3 Shimazaki Y, Nohmi M: The differences between the amount of Ca²⁺ release from the Ca²⁺ store and the amount of Ca²⁺ increase in the cytoplasm. 第83回日本生理学会大会. 2006, 3, 30. The Journal of Physiological Science 56: S212.